かたかみウォーキングマップ

KATAKAMI Walking Map

かみとぴあの会・片上地区区長会

エリアガイド

発行：かみとぴあの会・片上地区区長会

鯖江かたかみ春たんぼ

片上地区が実施している祭りに「かたかみ春たんぼ」がある。毎年4月29日に文殊山と片上公民館周辺を会場に、登山のウォークラリーや体験田植え、大抽選会などで、自然とふれあえる素朴な春の祭りが行われる。榎坂トンネルが開通した昭和63年から実施されている。

齋藤実盛屋敷跡（南井町）

齋藤家のひいらぎ（市指定文化財）

実盛は「源平盛衰記」によれば、越前国押領使藤原利仁将軍の後裔と伝えられ、越前に生まれたという。最初は源義朝に仕えたが、平治の乱に敗れて平宗盛に仕え、仁安年間（1166～69）武蔵国長井庄（埼玉県大里郡妻沼町）の荘司になった。寿永2年（1183）5月、老齢の白髪を黒く染めて参戦し、加賀国篠原（石川県加賀市）で木曽義仲軍と戦い討死したことが、「平家物語」等にも記されて有名である。

正覚寺（四方谷町）

- 浄土真宗本願寺派本願寺末妙観山正覚寺
- 宝物（十字名号一貫如上人御筆、山号木彫額字一文如上人御筆）
- 昔は禅宗に属し妙観寺と言った。開基了観の創立。天正の頃（1575年頃）織田氏に焼き払われた。その後戦乱の世に本願寺に改宗し寛永2年（1625）に正覚寺の号と本尊を賜る。その後村の正面に移転したが、明治16年（1883）8月16日許可を得て現在地に移転した。（片上村誌より）

親縁寺（大野町）

- 浄土真宗本願寺末寵蓮山親縁寺
- 昔は真言宗で大平山寵蓮寺と称し、宇今木出にあって齋藤実盛公の菩提所だったが、文明（1469～1487）の頃、本願寺蓮如上人に帰依し寵蓮山親縁寺と改称した。天正の頃（1575年頃）織田氏に破壊された。その後現在地に移転して、小庵を結んでいたが、5世の時代に今木出善右衛門の旧地を開拓した折にも石室を発見し、中から本尊等が見つかり安置した。その後本願寺より阿弥陀如来の木像を御下付され、ようやく寺庵の形が整った。明治39年（1906）許可を得て新築され現在に至る。（片上村誌より）

西称寺（別所町）

- 浄土真宗本願寺派本願寺末般若山西称寺
- 昔は真言宗の般若寺といい別所村の奥山に多数の堂塔坊を構え繁栄していたが、天正のころ織田信長により焼き払われた。
  その後般若寺の了宗法師が山下に小宇を再建した。その後慶長17年（1612）に浄土真宗に改宗。寛永2年（1625）西称寺と改めた。（片上村誌より）